

【特集】
スポーツの力で野田を元気に

元気な魅力で全国金賞

P!NO→★(ダンス)

平成29年10月14日に「とどろきアリーナ」(川崎市)で開催された全日本小中学生ダンスコンクール全国大会で、ダンススタジオのス

クービードウ(中根)所属の「P!NO→★(ピノ)」が小学生・オープン参加の部で金賞に輝きました。ピノは、小学2年生から5年生による6人のチームです。

独特のチーム名は、「同名のアイスクリーム製品が6個入りで、



(上段左から)岡田心優さん(小学4年)、荒井わかかなさん(2年)、富澤愛花さん(4年)
(下段左から)古谷柚乃さん(小学2年)、井上澄俐さん(5年)、小松美結さん(4年)

メンバーの人数と同じだったので名前をもらいました。『P!NO』だけだと4文字なので、『→★』の2文字を加えて6文字にしました」とのこと。

ジャズヒップホップにのせた「1人1人が気持ちと意識を持ったダンス」がピノの持ち味です。

ダンススタジオのスクービードウで、全員が集まって練習できるのは週2日。

全体練習で先生に指摘されたことを、個人練習で徹底的に修正して次の全体練習に臨む意識をメンバー全員が共有しています。

また、スクービードウには、さまざまな年代の子どもたちが練習に来ており、学校以外での交流、遊びの場にもなっています。

大会では、小学生の学校生活と放課後をテーマにしたダンスを披露。ランドセルを背負ったピンクの学生服で登場したピノが、チャイムが鳴ると一転チアガール風の衣装に早変わりします。

元気いっぱい学校を楽しむ女の子たちが、放課後には違う姿を見せる魅力溢れたダンスで、見事



自分の動きだけでなくメンバーの動きも把握

金賞を勝ち取りました。

金賞獲得後も先生の指導でダンスの完成度を上げるピノは「出場する全てのコンテストで優勝して、勝ち名乗りがしたいです」と目標を語ります。

「ピノのダンスの魅力は？」の質問には、「元気が人に伝わる」と「派手さ」「うるさいこと!」「元気」「面白さ」だそうで、これからも、「見る人に元気が伝わるダンス」を目指し、練習を重ねていくと元気な笑顔で答えていただきました。